

# 第1学年 生活科指導案

指導者 T1 直塚 眞澄

T2 並木 さやか

1 単元名 わたしのがっこうどんなどころ だいすき いなげしょう

2 単元について

(1) 指導要領から

本単元は、生活科の内容(1)と関わりがある。

(1) 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに興味をもち、安全な登下校ができるようにする。

ここでは、諸感覚を使って2年生に案内してもらった校庭や校舎内を自分たちで探検する活動を行い、学校の大好きな場所や稲毛小の自慢を見つける活動を通して、施設の特徴やそこに従事する人に気付くことができるようにすることを目指す。そのために活動を繰り返すことと、活動と活動の間をつなぐための表現・思考の場を設けることで活動を広げたり気付きを深めたりすることができるようにしたい。このような繰り返し探検したり紹介しあったりすることで安心して学校生活を送ることができるようにしたい。

(2) 単元の目標

繰り返し探検したり、知らせあったりする活動を通して、学校の施設の様子および先生などの学校生活を支えている人々や友だちのことが分かり、楽しく安心して学校生活を送ることができるようにする。

(3) 単元の評価基準

○学校の施設、学校生活を支えている人々や友だちに関心をもち、楽しく学校生活を送ろうとしている。  
(関心・意欲・態度)

○学校の施設の利用及び学校生活を支えている人々や友だちとのかかわりについて自分なりに考えたり工夫したり、振り返ったりして、それを素直に表現している。  
(思考・表現)

○学校の施設、学校生活を支えている人々や友だちの様子が分かり、それらと自分とのかかわりに気付いてる。  
(気付き)

3 部会研究課題とのかかわり

研究課題 (2) 子どものこだわりやよさを見つけ、やる気を引き出す支援のあり方を探る

○繰り返し活動、表現できるような場と時間の確保

- ・探検と探検の間に表現をする場を設定する。→次の探検の意欲  
探検から帰ってきたら、クラス全体で発見したことを共有する。  
繰り返し探検する場を設定する。  
友だちの探検した場所を見に行く時間を確保する。
- ・校内の先生方へ協力との願い

○子どもの思いを引き出す支援

- ・表現方法の工夫・・・文字で表現する、絵で表現する、担任が対話を通してカードを代筆する。
- ・言葉かけと価値づけ・・・気付いているが表出できない子に対する言葉かけ  
探検の視点明確にするような言葉かけ  
子どもの発言を取り上げたり広めたりすることで価値づけ
- ・グループ作り・・・1～3名ずつ  
思いを引き出すことができるようなグルーピング

このような支援をすれば子どものよさを見つけたり、やる気を引き出したりすることができるのではないかと考える。

**研究課題（3）子どもに培いたい学びの力、そのための手立てを明らかにした授業づくり**

○発見することのよさや伝えることの楽しさを実感できるような単元構成の工夫

入学して初めての単元なので、学びの基礎を培うことができるような単元にしていきたい。

- ・発見することのよさ
- ・視点の向け方
- ・伝えることの楽しさを実感させる

学び方の基礎を培うことで、この後の学習にも生かすことができるようになるのではないかと考える。

○相手意識明確にすることで目的をもたせ、発表内容を深める。

①クラスの友だち同士で発見したところを知らせ合う。

**【活動の意図】**

- ・友だちの発見や、自分の発見のよさに気付かせたい。
- ・友だちの発表の仕方よさや、自分の発表との違いに気付かせたい。

**【活動】**

友だちの発見を見に行く。  
自分の知らせる内容を見直す。  
自分の発見したことを再確認する。

②いろいろな先生に知らせる。

**【活動の意図】**

- ・自分の発見を表現するための工夫
- ・稲毛小のよさに気づき、安心して学校生活を送ることができるようにしたい。
- ・知らせたいことを伝えられた自分に気づき、自信をもたせたい。

**【活動】**

友だちの発見を見に行く。  
自分の知らせる内容を見直す。  
自分の発見したことを再確認する。

③家の人に知らせる。

**【活動の意図】**

- ・家の人よりも学校のことに詳しくなった自分に気づき、自信をもたせたい。
- ・今と昔の学校には相違点があることを知ってほしい。
- ・稲毛小のよさに気づき、安心して学校生活を送ることができるようにしたい。

このように紹介と活動を繰り返し、それぞれの意図を教師が意識することで学びを深めることができるのではないかと考える。

#### 4 児童の実態から（男子12人 女子22人 計34人）

##### (1) この単元を通して育てたい子どもの姿と子どもの思い・願い

- 学校の施設や先生、友達に興味、関心をもち自ら進んでかかわろうとする子ども
- 学校の施設や遊具の利用の仕方を考えながら、安全に生活できる子ども
- 学校探検を通して気付いたことを素直に表現することができる子ども
- 稲毛小学校の一員として楽しく安心して学校生活を送ることができる子ども

##### (2) 教師の願いと配慮事項

	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	気付き
教師の願い	①学校の施設の特徴やそこに従事する人々に関心をもち、楽しく安心して学校生活を送ってほしい。	②学校探検を通して発見したことや楽しかったことを進んで話したり、聞いたりして欲しい。発見したことや楽しかったことを自分なりの方法で表現してほしい。	③学校の様子や学校生活を構成するいろいろな人の存在に気付いてほしい。学校生活のルールに気付き、約束を守って施設を使うことができるようになってほしい。
配慮事項	①校内の施設を自由に回ることができるよう、特別教室の鍵を空けておく。 2年生には、稲毛小の大好きなところやすてきなところに視点を置いて学校案内をしてもらうようにする。 ワークシートを教室に掲示することで友だちが見つけた大好きにも興味をもつことができるようにしておき、次の活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	②自分が見つけたことを表現することができるよう、ワークシートを用意する。その際、文字が書けない子には対話の中で引き出した言葉を教師が記入するようにする。また、絵だけで表現してもよいことを伝える。 稲毛小の大好きな場所やすてきなところを知らせる場を設定する。相手を変え、何度も経験させることで、表現方法を広げたり、深めたりすることができるようにする。	③校内を自由に回り、興味のあるものに触れたり、そこにいる人々とふれ合ったりすることができるよう、事前に教職員と十分打ち合わせをしておく。給食室の匂いや理科室の薬品の匂い、音楽室から聞こえてくる音などに注目させる言葉かけやビンゴカードを用意することで、諸感覚を使って探検することができるようにする。 友だちの気付きを共有できるような活動や場を工夫する。

##### (3) 配慮事項に関する実態

###### ○配慮事項①に関連して

- ・学校の施設や校内にいる人々に対する興味・関心（行動観察、つぶやきから）

どの子ども1年生になった喜びと学校に対する期待、学習に対する意欲は高い。しかし、入学して間もない児童の中には、学校に対して不安を感じている児童も多くいる。「幼稚園・保育園とは違う」ことはわかっているけれども具体的に何が違うのか良くわかっていない児童が多い。その、良くわからないことが不安につながっているのではないかと考えた。

#### ○配慮事項②に関連して

- ・自分なりの方法で表現する活動（行動観察、つぶやきから）

校庭探検をおこなった時の様子を見ていると、見つけたものを友だちと共有したり、担任に報告したりする姿が見られた。1対1で気付いたことを担任に報告することを好む児童が多い。また、その時の体験を絵や文字で表現することができる児童もいた。話をすることはできても、絵で表現することを苦手とする児童もいる。

アサガオの種を観察した時には、友だちの発見はよく聞いているが、「書くことは何もない」という子もいた。観察の視点を個別に話したら気付きはあるのだが、どのように表現してよいかわからなかったようだ。自ら主体的に対象とかかわる経験が少ないためだと考える。

#### ○配慮事項③に関連して

- ・学校の施設や校内にいる人々への気付き（行動観察、つぶやきから）

自分たちの生活にかかわりのある自教室や下駄箱、いつも使うトイレ、教室の隣にある職員室や6年生の教室などの施設に関してはよく理解しているが、特別教室の場所や何に使われているかなどまだ、わからない児童が多い。また、「6年生の先生」や「保健室の先生」など、どのような立場の職員かわかっているにもかかわらず名前を把握していなかったり、どのような仕事をしているか理解していなかったりする児童がほとんどである。

- ・学校のルールや施設の使い方の理解（行動観察、つぶやきから）

廊下は静かに歩くことや、ベランダには出ないことなど、基本的な約束についてはよく理解している。しかし、意識して守ることができる児童は少ない。また、特別教室を使った経験が少ないので、どのように使ったらよいかわからない児童が多い。

## 5 学習の流れ

### 主な活動と内容

小单元1 がっこうたんけんにしゅっぱつ！（5時間＋常時活動）

### 評価基準

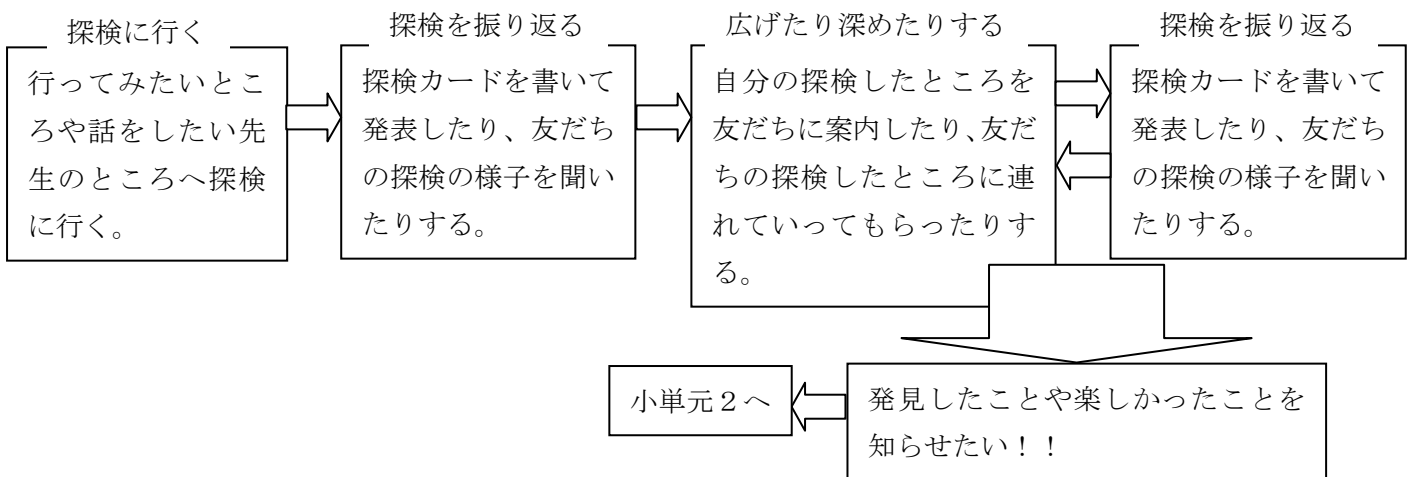
- ◎自分の学校に施設に興味・関心をもって探検し、大好きや、すてきなどところを見つけようとしている。（関心・意欲・態度）
- ◎行きたい場所や好きな場所を話し合い、見つけたことを自分なりの方法で表現している。（思考・表現）
- ◎探検の約束に気付いたり、学校の様子や学校生活を構成する人々の存在に気付いたりすることができる。（気付き）

### ○2年生と学校探検をする。（2）

- ・2年生のお気に入りの場所を聞く。
- ・探検した場所を発表し、次に探検したいところを話し合う。

### ○学校探検をする。（3＋常時活動）

- ・探検してみたい場所とその理由をグループで話し合い、探検の計画を立てる。
- ・探検に行き、発見したことをクラスで話し、発見を共有する。



### [留意点]

- ・2年生と学校探検に行く際には、2年生のおすすめの場所や稲毛小のすてきなどところについて話をしながら案内してもらうようにする。
- ・探検のルール（廊下は静かに歩く、鍵の空いていない部屋には入らない、あいさつをする）に気を付けて探検することができるよう、事前指導をしっかりとする。
- ・教職員には事前に学校探検の内容とめあて、趣旨について話をしておき、協力してもらえらるようしておく。
- ・探検して気が付いたことや、すてきだなと思ったところを書き留めておくことができるように、ワークシートを用意し、うまくかけない児童には一緒に書いたり、絵で表現したりできるようにしておく。
- ・諸感覚を十分に活用して探検することができるように、ビンゴカードを用意しておく。（音・匂い・稲毛の特徴など）
- ・休み時間や、その他の時間にも探検できるよう、校内体制を整えておく。

小単元2 もっとみつけよう、いなげしょうのすてきなところ（8時間＋常時活動）

- ◎学校探検を通して気付いたことを進んで話したり聞いたりしようとしている。（関心・意欲・態度）
- ◎学校探検を通して気付いたことを、友達や先生、家の人に素直に表現することができる。（思考・表現）
- ◎友達の話聞いて稲毛小のよいところに気付くことができる。（気付き）

○知らせたいことを話し合い、どのように紹介したいか考える（1）

- ・知らせるところを見に行く
- ・方法を考える  
話、実物を見せる、絵、写真

○知らせる準備をする（2＋図工、国語、常時活動）

- ・自己紹介、紹介の練習
- ・絵や写真の準備
- ・知らせること見直すために探検をする。
- ・名刺の準備

生活科の学習以外でも、時間の空いた時（国語や算数の学習が予定より早く終わった時など）に5分、10分の探検に行ったり、休み時間にも教師と一緒に探検に行ったりできるよう声をかける。

○稲毛小のすてきなところを紹介する。（4＋常時活動）

- ・クラスの友だちに（2）  
場所や紹介の仕方によっては、その場へ行って紹介する。  
発表後、もう一度探検したり、紹介内容を見直したりする。
- ・いろいろな先生に（1・本時）  
絵や写真、言葉で説明したり、案内したりする。
- ・家の人に（1）
- ・6年生や2年生に（常時活動）

○単元を振り返る。（1）

[留意点]

- ・活動と表現を繰り返すことができるような場と時間の設定をする。
- ・どこ知らせたいか思いつかない児童には十分に対話をしたり、一緒に探検に行ったりしながら児童の想いを引き出し、稲毛小のすてきなところに気付くことができるようにする。
- ・絵を描くことが苦手な児童には写真などを活用させることで安心して活動に取り組むことができるようにする。
- ・知らせる時には、その場へ行って話をさせることで、友だちのすてきなところを共有できるようにする。
- ・探検や知らせる活動が終わったら見に行く時間を設けることで、次の活動につなげることができるようにする。
- ・諸感覚を使った発見について知らせている児童を称賛することで、ほかの児童にも広がるようにする。
- ・繰り返し、知らせる場を設定することで、知らせ方や学びを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・先生方には、子どもの思いを引き出したり、気付きを深めたりすることができるような声かけを積極的にしていただけるよう、お願いしておく。
- ・保護者には、今の学校と昔の学校の相違点などを積極的に話してもらい、今の稲毛小との違いに触れることができるようにする。

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

学校探検を通して気付いたことを友だちや先生に素直に、伝えることができる。

### (2) 展開 (11 / 13)

学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価 (☆)
<p>1 本時のめあて、約束等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲毛小のすてきなところが伝わるように話す。</li> </ul>	<p>○約束を確認することができるように掲示しておく。</p>
<p>いなげしょうの すてきなところを おしえてあげよう。</p>	
<p>2 稲毛小のすてきなところを知らせる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自己紹介をする。</li> <li>② 先生のお名前を聞く。</li> <li>③ お知らせする。</li> <li>④ 稲毛小のすてきなことが分かったか尋ねる。</li> </ol> <p><b>発表場所</b> 体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲毛小の先生のひみつ</li> <li>・体育館</li> </ul> <p><b>発表形態</b> その場へ行って</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長室</li> <li>・職員室</li> <li>・プール</li> <li>・理科室</li> <li>・屋上の景色</li> <li>・資料室の道具</li> <li>・放送室</li> </ul>	<p>○知らせ方の順序を把握しやすいように掲示しておく。</p> <p>○一人で伝える自信のない児童には、2～3人のグループを作っておく。</p> <p>○紹介する先生の名前を呼ぶことができるよう、サインをしてもらうためのワークシートを用意しておく。</p> <p>○うまく説明できない場合には、その場所へ一緒に行ってもらい、実物を見ながら説明してもよいことを伝える。</p> <p>○誰に知らせようか迷っている児童には、一緒に相手を探すようにする。</p> <p>○相手にわかってもらおうと一生懸命に表現している姿や、工夫している姿を認め、ほめることで意欲や自信をつけたり、次の活動につなげたりする。</p> <p>○新たな気付きをつぶやいたり、知らせたりしている児童を褒めることで、気付きを意識することができるようにする。</p> <p>☆学校探検を通して、気付いたことを進んで話そうとしている。</p>
<p>3 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲毛小の素敵なおところを伝えることができたか。</li> <li>・友だちの知らせたことから初めて知ったことや分かったことを発表する。</li> <li>・見ていただいた先生方から、発見したことを聞く。</li> </ul>	<p>○手を挙げて、振り返りをさせる。</p> <p>○探検を通して新たに気付いたことや、友だちの知らせてくれたことから気付きがあった児童を取り上げ、賞賛するようにする。</p> <p>○新たな発見などを発表させることで、気付きを広げたり深めたり、次の活動につなげたりすることができるようにする。</p> <p>○先生方から話を聞くことで、自分や友だちのがんばりに気付いたり、自信をもったりすることができるようにする。</p> <p>☆学校探検を通して気付いたことを、伝えることができる。</p>

